

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 11月 9日

【評価実施概要】

事業所番号	2770105175		
法人名	社会福祉法人 野田福祉会		
事業所名	グループホーム ハーモニーあかさか		
所在地	大阪府堺市南区赤坂台2-9-23-101・102号 (電話) 072-290-0027		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成19年10月31日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成19年10月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	10 人	常勤 1人, 非常勤 9人, 常勤換算	4.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	5 階建ての	~1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円	
敷金	有() 円) 〇無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円) 〇無	有りの場合 償却の有無	有 / 〇無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	6名	男性	0名	女性	6名	
要介護1	1	要介護2	3			
要介護3	2	要介護4	0			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	82歳	最低	72歳	最高	88歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ハーモニー診療所
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大阪府府営住宅モデル事業として団地の2室をリフォームされ、入居者6名が家庭的な環境の中で生活されていました。入居されている方々は、それぞれの役割やお互いの存在を尊重しあい、職員とも信頼関係が築けており、入居者の方々の表情が穏やかでした。食堂には入居者の作品と、それに組み込まれている写真が一緒に飾られており、廊下には外食や様々な行事の写真が掲示され、限られたスペースを有効に使い、面会に来られる家族にも日々の様子がうかがえるような工夫が感じられました。ホーム自体の面積も限られており、入居者の下肢筋力が低下しないように、また気分転換のために天気の良い日は毎日屋外に出て散歩するように配慮されていました。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果をファイルに綴じ、玄関を入れてすぐの下駄箱の上に設置され、いつでも誰でも閲覧できるように工夫されていました。府から危機管理体制の指導があるため玄関に鍵をかけざるをえないことに苦慮されていました。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価・外部評価を実施することで、施設全体の見直しや介護に対しての原点を見直すことができると、管理者と職員の意識統一が図られていました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 2ヶ月に1回は運営推進会議を定期的かつ継続的に開催されていました。情報交換を行い、議論された内容は各職員にも浸透するように工夫されていました。また、近隣のグループホームとも交流を持ち、親睦を図りながら意見交換をされていました。今後、市町村とは運営推進会議以外の場でも情報交換の場を持ちたいとの希望を持っておられ、管理者の熱意が感じられました。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 少人数であり、日頃からご家族との面談はよくできており、ご意見等にはその場その場で対応されていました。家族会も1年に1度は忘年会と銘打って親睦を図られていました。アンケート結果からも、信頼関係が良く築けていることが感じられました。また、致し方なく退所された方やその家族へのアフターケアにも力を入れておられていました。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 府営住宅の中にあるため、管理者は自治会の役員なども引き受け、積極的に地域に溶け込んでおられました。入居者の方々も老人会に加入し、文化祭や盆踊りなどの行事に参加されていました。また、近隣の小学生が訪問してくれたり、ボランティアの方が訪問されたりと地域との交流を深めておられていました。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念は「前途洋々」をもとに「利用する人と働くものの幸福を追求する。」「社会福祉の発展を究極の目的とする。」「ONRY ONEを目指す。」ですが、ホームでは「笑顔を決やさない。」を理念に掲げ、毎日1人でも一度でも笑顔を増やせるように工夫されていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員の採用時には必ず理念を伝え、共有できていました。また、毎月会議を行い、理念をもとに毎月のスローガンを考え、具体的なケアに繋がるように職員の意見統一を図っておられました。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者の方々は地域の老人会に加入し、地域の文化祭や盆踊り等に参加しておられました。また、事業所として団地内の自治会に入り、管理者は自治会の役員を引き受ける等して、地域の住民とも交流を図っておられました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を真摯に受け止め、改善課題があれば迅速に改善に向けて努力したいとの姿勢が窺えました。また、どのような評価を受けたのかを家族・入居者・職員誰もが閲覧できるようにファイルを下駄箱の上に置いてありました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員会は2ヶ月に1度、欠かさず開催されてきました。会議ではただの報告会で終わらぬよう、問題点や現在取り組もうとしている内容についても意見を求め、サービス向上に繋がるように努力されてきました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>現在は運営推進会議以外では行き来する機会がないとのことですが、今後は行なっていきたいとの希望をもっておられました。</p>		<p>来年度より地域包括支援センターと協働することになっているそうですので、より情報交換の場が増えるのではないかと思います。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>法人の広報「はーもにー」を発送し、訪問時には行事等の写真を見ていただけるように工夫されていました。家族には1~2ヶ月に一度連絡を取り、健康状態等の報告を行なっておられました。金銭管理に関してもご家族に毎月1回書面を送付されていました。</p>		<p>広報は法人のものだけでなく、ホーム独自の瓦版のようなものを作成されてはいかがでしょうか。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を設置し、面会時には職員へ気軽に意見等を言える雰囲気作りをされていました。また、家族会を開催し、日頃言いにくいことも話しやすいように配慮され、意見等が聞かれたときは運営推進会議やスタッフの会議の場で取り上げ、運営に反映できるよう工夫・努力されていました。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>入居者・家族への信頼関係を築くためにも、職員の顔ぶれが変わらないように心がけておられました。やむをえず異動等ある場合は、入居者に説明、紹介を行い、不安を与えないように努力されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の法人の勉強会に参加し、認知症介護実践研修等には順番に受講して職員の育成に力を注がれていました。</p>		<p>今後も法人の勉強会だけでなく、外部の研修にも参加され、職員全員がスキルアップできるようにご検討下さい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に一度、堺市南区内のグループホームとの交流会を持ち、意見や情報の交換を行なっておられ、サービスの質の向上に尽力されていました。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しく入居される方には「お試し利用」や入居後は家族には面会に多く来ていただく等、本人と家族には分かりやすく時間をかけて説明をされていました。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は日頃からパーソン・センタード・ケアを念頭に入れ、一方的には話しかけず、傾聴し共に考えることを心がけておられました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前の面接時には生活歴を聞き、日頃の会話の中から本人の希望や意向を把握するように配慮されていました。また、本人から聞き出せない場合は家族からの助言や情報を収集し、本人本位になるよう配慮されていました。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>課題分析を行なうにあたり、本人・家族から情報を収集され、ケアプランを作成されました。日頃関わっている職員のアイデアも大切にされていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を確認し、本人・家族の要望を取り入れながらケアプランの見直しを実施され、新しいプランに対して家族の同意を得ておられました。</p>		<p>ケアマネージャーは法人の施設に居られるようなので、もう少しグループホームのほうに足を運ばれてもよいのではないかと感じられました。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人の状況や家族の希望を把握した上で居室や食事の席を決めておられました。入居者6人という少人数の利点を活かして外食等の外出にも積極的に取り組んでおられました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>必ず週1回の嘱託医の往診・看護師の訪問・歯科医の健診などがあり。家族の希望があれば、往診時に同席できるよう配慮されていました。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>法人として緊急時の対応と重度化・看取りに関する指針を整備しており、家族や本人に説明し同意を得ておられました。重度化された方については法人と連携をとっておられました。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>施設全体のスペースに限りがあるものの、記録などの保管場所や個人情報の取り扱いについて十分な注意を払っており職員に意識徹底されていました。また、入居者一人ひとりの尊厳を大切に言葉かけや対応をするように指導されていました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床・食事・入浴・就寝など一人ひとりの生活ペースを大切に、散歩や買い物、食事作りなどの活動も本人の意思を尊重されていました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日入居者一人ひとりに夕食の献立を聞き、買い物や食事作り、盛り付け、後片付けなどを行なっておられました。職員と入居者が一緒に楽しみながら取り組んでおられました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴される方もいれば、二日に1度の入浴の方もいらっしゃいました。安全のため、職員は見守りや一部介助を行なっておられますが、最低限にとどめ、ゆったりと湯船に使っていただけるように配慮しておられました。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居される前に生活歴や趣味などを聞き、また、日々の生活の中で興味を示されたことに配慮し、能力や得意なことを活かせるように支援されていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、買い物や散歩などに出かけることで、近所の住民の方と話をする機会が増え、気分転換も図れるように支援されていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	府の危機管理体制の指導のもと、住宅環境を考えると安全面を優先せざるをえないとの事で、玄関には鍵をかけられていました。居室には鍵はかけられておらず、入居者の方は居室と食堂など自由に出入りされていました。		物騒な時代のために外部からの侵入者を防止するという意味で、鍵をかけざるをえないと思います。「鍵」は永遠の課題かもしれませんが、訪問される方が入りにくい施設にならないよう前向きにお考え下さい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の避難訓練を実施されており、ベランダからの避難経路も確保されていました。災害時のマニュアルも完備されており、万が一を考え、マニュアルは目のつく場所に掲示されていました。</p>		<p>消火器は屋外に設置されているだけとの事でしたので、屋内（例えばキッチン）に1つは設置されてもよいのではないかと思います。ご検討下さい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの食事摂取量・水分摂取量を把握されていました。キッチンにある冷蔵庫には個人のジュースや差し入れのおやつなどが入っており、本人たちは自由に冷蔵庫を開けておられました。食べ過ぎや賞味期限などは職員が管理されていました。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間や廊下は明るさも丁度よく、入居者の作品や行事等の写真を展示し、限られたスペースを有効に使われていました。テレビの音量なども配慮され、居心地のよい空間作りを工夫されていました。</p>		<p>掲示物はややもすると幼稚な感じになりやすいので、入居者の方々と相談しながら、空間作りや掲示物作成をご検討下さい</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>備え付けの家具はなく、どの居室も入居者の使い慣れた家具を持ち込まれ、入居者本人と家族が居室内のレイアウトを楽しんでおられるようで、それぞれ個性があり、居心地欲過ごせるような工夫がされていました。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。